

平成30年 9月 7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成30年 8月次 月次概況 (速報) のお知らせ

平成30年 8月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 30 年 3 月 期											
	平成 29 年									平成 30 年		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
営業収益 (単位：百万円)	469	488	449	404	489	539	483	482	607	552	499	562
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	63,192	72,786	82,184	88,166	117,248	143,437	115,410	122,896	81,853	142,982	164,784	129,679
外国為替取引口座数 (単位：口座)	298,467	300,139	301,557	303,106	304,509	306,001	307,465	308,647	309,873	311,645	313,167	314,547
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	59,995	61,529	62,091	62,774	63,253	64,734	63,512	61,675	61,378	62,789	62,309	61,758
一般顧客	50,108	50,819	51,353	52,431	53,410	54,057	55,014	55,820	55,367	57,073	57,628	56,966
金融法人 (B to B)	9,886	10,709	10,737	10,342	9,843	10,676	8,498	5,854	6,010	5,716	4,680	4,792
マネパカード口座数 (単位：口座)	77,503	81,189	85,019	90,702	97,327	101,409	104,187	107,082	110,964	116,830	119,853	122,719

年 月	平成 31 年 3 月 期											
	平成 30 年									平成 31 年		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
営業収益 (単位：百万円)	536	519	478	439	670							
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591	92,238	107,353							
外国為替取引口座数 (単位：口座)	315,872	317,341	318,698	319,983	321,275							
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	62,379	61,817	63,050	63,736	62,506							
一般顧客	57,653	57,015	57,840	58,372	57,290							
金融法人 (B to B)	4,725	4,802	5,209	5,363	5,216							
マネパカード口座数 (単位：口座)	124,965	129,820	134,553	137,762	139,807							

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 平成23年 8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものと B to B 取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 8月次の概況 >

8月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝111円後半で取引が始まり、米中貿易問題や米国とトルコとの関係悪化への懸念を背景とするリスク回避の流れからドル売り円買いとなり13日には110円前半まで値を下げ、その後、トランプ大統領のドル高容認発言等から値を戻す局面もあったものの、20日にトランプ大統領が利上げに不満を示したと伝わると21日には月の安値となる109円後半をつけました。その後、米中貿易問題への警戒感の後退等を背景に111円半ばまで値を戻し、111円前半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、トルコリラを始めとする新興国通貨の急落による影響等から値動きの大きい展開となり、米ドル／円の変動率は非常に低い水準であったものの全体としての変動率は、前月を上回る水準となりました。

このような状況の中、外国為替取引高は、米ドル／円は前月と比べ減少したものの、新興国通貨や欧州通貨が大きく増加するなど全体としては前月比16%増加の1,073億通貨単位となりました。一方、営業収益は、取引高の増加に加えて相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が大きく低下した等の影響から全体の取引当たりの収益性が高まったことにより、前月比53%増加の670百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,292口座増加の321,275口座、マネパカード口座数は前月比2,045口座増加の139,807口座と増加ペースは概ね前月並みとなった一方、外国為替取引預り証拠金は、新興国通貨の急落等により顧客の損益が悪化したこと等が影響し前月比1,229百万円減少の62,506百万円となりました。

以 上